

2026.3.31
Dance Base Yokohama

Dance Base Yokohama × Dance Base Edinburgh 国際連携に合意 ～阿目虎南『R/evolution(s)』、エディンバラ・フェスティバル・フリンジ 2026にて全12回上演～



Photos by Naoshi HATORI

Dance Base Yokohama (以下、DaBY) は、スコットランド・エディンバラを拠点とするダンスセンター Dance Base Edinburgh との国際連携を合意しました。この度のダンスハウス同士の本格的な連携はDaBYにとって初の試みとなります。2026年8月、DaBY “Wings” プロジェクトで創作した阿目虎南『R/evolution(s)』をエディンバラ・フェスティバル・フリンジ 2026で上演し、そのエクステンジとして、Dance Base Edinburgh とともに選定するスコットランドのアーティストのレジデンスをDaBYで受け入れます。

■ 作品について／エディンバラ公演のねらい

DaBYが派遣するのは、2025年に “Wings” で製作・発表した阿目虎南（あもくこなん）による『R/evolution(s)』です。日本を代表する舞踏カンパニー・大駱駝艦で研鑽を積んだ阿目と、多様な経歴を持つ4名のコンテンポラリーダンサーが出会い、舞踏の系譜を継承しながらその形式を現代に刷新する本作は、公転と革命をテーマに、和太鼓やドラム、クラブカルチャーを想起させる舞台照明で存在感を放ち、初演の愛知県芸術劇場での上演後、観客に強い衝撃を与えました。世界各国の舞台芸術関係者が集まる本フェスティバルへの参加を通じ、ネットワーク構築と上演機会の創出をめざします。

■ Dance Base Edinburghとの連携について

今回の国際連携は、DaBYとDance Base Edinburghが2023年以来重ねてきた信頼関係のもと実現しました。Dance Base Edinburghとは、アーティストの相互派遣を軸に、今後の長期的な交流・情報ネットワーク等へと発展させることを合意しています。単独の公演やレジデンス機会にとどまらない、日本と英国のダンスシーンをつなぐ長期的で持続可能なパートナーシップを構築します。

■ 今後の展開

“Wings” はDaBYが継続的に支援する6組のクリエイター（阿目虎南、岩淵貞太、小野彩加 中澤陽 スペースノットブランク、柿崎麻莉子、鈴木竜、高橋萌登）の国際的な活動を推進しています。Dance Base Edinburghとの連携は、その新たな礎となるものです。DaBYは今後も国内外のダンスハウスネットワークを拡張しながら、日本のダンスシーンの国際的な発信拠点としての役割を担ってまいります。

なお、「世界に羽ばたく次世代クリエイターのためのDance Base Yokohama 国際ダンスプロジェクト “Wings”」は、「文化芸術活動基盤強化基金」による「クリエイター・アーティスト等育成事業」【舞踊部門】に採択され、2024年より実施しています。

■ エディンバラ公演概要

公演タイトル	Dance Base Yokohama / 阿目虎南 『R/evolution(s)』
公演日程	2026年8月18日 (火) ~ 8月30日 (日)
上演回数	12回
会場	Dance Base 1
所在地	Edinburgh, Scotland, United Kingdom
フェスティバル	Edinburgh Festival Fringe 2026
チケット発売	2026年4月1日 (水) 予定
公演詳細情報	https://assemblyfestival.com/whats-on/revolutions

■ 作品クレジット (初演時)

演出・振付・美術：阿目虎南

出演：長田萌夏、鶴見香弥、畠中真濃、松倉祐希

音楽：網田破裂音、鳴神硬雪

音響デザイン：櫻内憧海

照明デザイン：中山奈美

プロデューサー：唐津絵理 (Dance Base Yokohama / 愛知県芸術劇場)

技術統括：世古口善徳 (愛知県芸術劇場)

技術監督：湯山千景

舞台監督：森部璃音

制作：神村結花 (Dance Base Yokohama)

広報：田中希 (Dance Base Yokohama)

マネージングディレクター：勝見博光 (Dance Base Yokohama)

初演：2025年10月 (愛知県芸術劇場) ＊パフォーミングアーツ・セレクション2025 Festival Edition

企画制作：Dance Base Yokohama [一般財団法人セガサミー文化芸術財団]

共同製作：Dance Base Yokohama、愛知県芸術劇場 [愛知県文化振興事業団]

助成：クリエイター支援基金



■ 阿目虎南 (Conan Amok / あもくこなん)

振付家・ダンサー。燦然CAMP主宰。DaBY “Wings” クリエイター。

2008-2019年、大駱駝艦に所属、磨赤兒に師事。

2010年、武蔵野美術大学彫刻学科卒業。2022-2024年、A5yl/燦然光芒 芸術監督。

作品づくりのコンセプトを「即物性のドラマ -意識や力における質感の描写/変容と対比による時空間の生成-」と掲げ、ソリッドかつ緻密な身体性、メタ的でありながら熱狂を伴うダンス作品を制作する。

現象学・彫刻的視座に基づく舞踏技術「Multi layered body」を研究実践。

国内外でWSや公演を行う。また、舞台・ドラマ・映画・PV・CM等多数出演。

受賞歴として、英国アカデミー賞公認映画祭 ダンス部門 (2019)、International Gombrowicz Festival 準グランプリ (2022)。

また、Butoh Lab Camp、武蔵野美術大学などで講師を務める。

DaBYでは2023年以降にレジデントアーティストとして多数の企画に参加。



©Mai Taniguchi

■ Dance Base Edinburghについて

Dance Base Edinburgh (ダンス・ベース・エディンバラ) は、スコットランドの国立ダンスセンターです。

非営利団体として、スコットランドおよびその先でダンスが花開き、人々の人生を変えることを使命としています。4つのユニークなスタジオ、週70以上のクラス、ダンスアーティストへの幅広いサポート、公演、国際交流、コミュニティプロジェクトなどのすべてを、知識豊かで情熱あふれるチームが届けています。

アーティストック・ディレクターを、振付家としても活躍するTony Mills氏が務め、年間約3,000以上のプロダクションが参加する世界最大規模の舞台芸術フェスティバル「エディンバラ・フェスティバル・フリンジ」期間中の国際ダンスプラットフォームのキュレーションも手がけています。

Dance Base Edinburghでも、毎年独自のプログラムを紹介しています。



■ Dance Base Yokohama (DaBY)について

DaBYは、パフォーマンスアーツの創作を行うダンスハウスです。アーティストック・ディレクターを愛知県芸術劇場芸術監督でもある唐津絵理が務め、2020年の創設以来、「フェアクリエイション宣言」の考え方をもと、公正でひらかれた環境づくりをめざしています。「創作環境の整備」「次世代クリエイターの支援」「国際ネットワークの構築」を柱に、愛知県芸術劇場との共同製作・招聘事業をはじめ、各地の劇場・文化機関との連携や、多様なアーティストとの協働の場を継続的に創出しています。

これまでの事業の発展として2024年に始動した "Wings" では、制作支援・メンタリング・海外公演機会の創出を通じてダンスアーティストへの継続的かつ国際的な活動の基盤づくりを行っています。



©Takayuki Abe

DaBYは、2019年に設立した一般財団法人セガサミー文化芸術財団が運営しています。2023年度には、企業メセナ活動の優れた取り組みを表彰する「メセナアワード2023」においてメセナ大賞を受賞しました。

特設サイト：<https://dancebase.yokohama/wings/>

作品紹介ページ：<https://dancebase.yokohama/works/15029/>